

科目名	検査・測定と評価							年度	2026
英語科目名	Physical Examination, Measurement, and Evaluation							学期	前期
学科・学年	スポーツトレーナー科三年制 2年次	必/選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	加藤	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		

【科目の目的】

本科目は日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの資格取得に必要な科目となります。
 整形外科的な検査・測定と評価方法の理論・実技について、スポーツ動作の観察と分析を習得する事が目的です。

【科目の概要】

アスレティックトレーナーに必要な評価・検査・測定の手法、スポーツ動作の観察・分析について学びます。

【到達目標】

スポーツを安全に楽しく実施するために、各種の検査・測定と評価の意義、各種測定方法について、歩行動作・走動作・投動作・あたり動作などのメカニズムなどについて学びます。理論だけではなく、整形外科的検査方法は実技としても学び、高度な知識と技能を備えた医・科学サポートスタッフであるアスレティックトレーナーとしての役割を踏まえ総合的に理解を深めます。

【授業の注意点】

持物：テキスト、筆記用具（レポート用紙orルーズリーフ）授業には毎回出席し、課題は必ず提出して下さい。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 もう少し
到達目標 A	理解と暗記が出来ている 90点以上		理解と概ねの暗記が出来 ている 75点以上		理解している 60点以下
到達目標 B	理解と暗記が出来ている 90点以上		理解と概ねの暗記が出来 ている 75点以上		理解している 60点以下
到達目標 C	理解と暗記が出来ている 90点以上		理解と概ねの暗記が出来 ている 75点以上		理解している 60点以下
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

AT専門科目テキスト「検査・測定と評価」他

【参考資料】

配布プリント

【成績の評価方法・評価基準】

筆記試験・実技試験

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		検査・測定と評価			年度	2026
英語表記		Physical Examination, Measurement, and Evaluation			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	評価とは	ATに必要な評価の理解	1 評価の概要	評価する意味・概要を理解	2	
2		評価の基本	1	姿勢・アライメント	2	
			2	評価の基本理論・実技		
	3			周径位		
3	関節の緩み	関節弛緩性の理解	1 関節弛緩性テストの理論・実技	関節弛緩性テストの理論・実技が分かる	2	
4	関節可動域	ROMの意味と測定方法の基本	1 ROM測定の基本	ROMの理解と測定方法の基本ができる	2	
5		上肢のROM	1 測定	上肢の関節のROM測定ができる	2	
6		下肢のROM		1	下肢の関節のROM測定ができる	2
7	筋力について	MMTの意味と測定方法の基本	1 ROM測定の基本	ROMの理解と測定方法の基本ができる	2	
8		上肢のMMT	1 測定	上肢の筋のMMT測定ができる	2	
9		下肢のMMT		1	下肢の筋のMMT測定ができる	2
10	筋の硬さ	筋タイトネスチェック	1 筋タイトネスチェックについて	理論が理解できる 上肢の評価ができる 下肢・体幹の評価ができる	2	
11	整形外科的テスト法	肩関節の検査	1 部位別スペシャルテスト	各種スペシャルテストの意味・手技ができる	2	
12		手・肘関節				
13		股関節・膝関節				
14		足関節				
15	まとめ	総合理解	1 理論の理解	理論を理解している	2	
			2 評価方法の基本	評価の基本を理解している		
			3 部位別の評価	部位別に総合的な評価ができる		